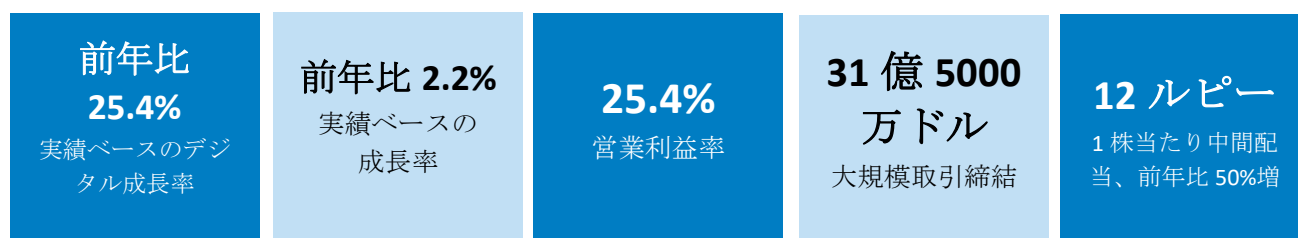


ビジネス成長率は前年同期比 3.7%増

売上と利益は、それぞれ実質ベースで 2%~3%、23%~24%の上方修正

バンガロール(インド) – 2020年10月14日

最高経営責任者兼取締役 Salil Parekhは次のように述べています。「第2四半期の業績には、顧客のデジタル・トランスフォーメーションを支援する当社の能力がはっきりと映し出されています。当社のデジタルおよびクラウド能力がしっかりと顧客の要求に適合して市場での差別化を実現した結果が、前年同期比2.2%の売上増、そして今や売上高の47.3%を占めるデジタル・サービスの成長率 25.4%に表れています。2020年度の売上高および利益率の成長見込みは、当社に対する顧客の継続的な信頼によるものです。世界的に困難な業務状況において、このような成果を挙げたチームをこの上なく誇りに思います」



- 第2四半期の売上高は実質ベースで 4.0%の連続成長
- 第2四半期の前年同期比成長率は米ドル・ベースで 3.2%、実質ベースで 2.2%
- 第2四半期のデジタル売上高は 15 億 6800 万米ドル (総売上高の 47.3%)、前年比成長率は実質ベースで 25.4%
- 第2四半期の営業利益率は 25.4%、前年同期比 370 bps 改善
- 第2四半期のフリー・キャッシュフローは 6 億 7400 万ドル、前年同期比 69.8%の成長
- 第2四半期の純利益は 6 億 5300 万ドル、前年同期比 14.7%増
- 第2四半期の IT サービスの自主離職率は 2019 年度第2四半期の 18.3% から 7.8%に減少
- 上半期の売上高は実質ベースで 1.9%成長
- 上半期の営業利益率は 24.1%
- 1株当たりの中間配当金は 12 ルピー
- 2020 年度の収益成長予想範囲を実質ベースで 2%~3%に上方修正
- 2020 年度の営業利益予想範囲を 23%~24%に上方修正

1. 財務ハイライト – 国際財務報告基準 (IFRS) に基づく 連結決算

2020 年度第 2 四半期

売上高は 33 億 1200 万ドル、前年同期比 3.2%増、前四半期比 6.1%

営業利益は 8 億 4000 万ドル、前年同期比 20.7%増、前四半期比 18.7%増

基本 EPS は 0.15 ドル、前年同期比 14.9%増、前四半期比 17.0%増

2020 年度上半期

売上高は 64 億 3300 万ドル、前年同期比 1.5%増

営業利益は 15 億 4700 万ドル、前年同期比 15.6%増

基本 EPS は 0.29 ドル、前年同期比 9.5%増

COOのPravin Raoは次のように述べています。「健全な増加、広範囲に及ぶ成長、TCVとの31億5000万ドルと
いうかつてない大型取引、1桁まで減少した離職などの運用指標から、第2四半期においてインフォシスの強さと回復
力是一目瞭然です。従業員はインフォシスの成功のために重要な一翼を担ってきました。従業員の素晴らしいパフォー
マンスを評価し、第2四半期の特別インセンティブと共に100%の変動給を支給します。さらに、1月1日から有効とな
る全レベルでの昇給と昇進を実施します」

CFO の Nilanjan Roy は次のように述べています。「特定のコスト繰延に支えられたコスト最適化および運用効率
向上に対する私たちの絶え間ない努力により、270 bps の連続改善で営業利益率は 25.4%となり、上半期マージ
ンは 300 bps 改善されました。流動性とキャッシュ管理に一貫して注目したことで上半期のフリー・キャッシュ・フローは
大幅に成長しました。その結果、1 株当たりの中間配当を 50%増の `12 に引き上げます」

2. 顧客の獲得と証言

産業全体が世界的に不安定で、医療は現在のような状況にあります。当社は、顧客が回復に至るまで支援する能
力を構築しながら、顧客との関連性を大事にする文化を育み続けています。

- 第 2 四半期に達成した複数のマイルストーンには次のような事業があります。古くから Fortune 500 社に名
を連ねるユーティリティ会社の **Consolidated Edison 社** (コン・エジソン) に選定され、今後 4 年にわた
ってコン・エジソンの顧客サービス機能のデジタル化を行います。
- ドイツのケルンを拠点とする有数の特殊化学品会社 **LANXESS 社** に協力して、同社の IT インフラストラク
チャ・デジタル戦略をサポートし、世界各地の従業員に安全で完全に管理された最新のワークプレイスを提供
します。
- 米国の公共上下水道および天然ガス大手事業者である **Essential Utilities 社**により、デジタル・トラ
ンスフォーメーションを推進する戦略的パートナーとして選定されました。

- ニューヨークを拠点とする対話型 AI のリーダーである **LivePerson** と初めての 360 度パートナーシップを締結し、同社のインフラストラクチャを変革し、業界を主導するアジリティ、拡張性および安全性を提供します。さらに、LivePerson 社のデジタル・マーケティング、E コマース、コンタクトセンター、従業員エンゲージメントおよび共有サービスの顧客ポートフォリオ全体でサービス普及の推進も支援します。
- **Old National Bancorp (ONB)** は米国インディアナ州に本社を置く最大級の金融サービス銀行持株会社で、デジタル・ソリューションの迅速な採用を実現し、同社の既存テクノロジー・インフラストラクチャを最新化し、顧客と従業員のエクスペリエンスを共に向上することをインフォシスに要望されました。
- **バーレーン国立銀行(NBB)**は、トランザクション・バンキング業務のデジタル化のために Infosys Finacle を選定されました。

世界中でビジネスは厳しい状況に置かれていますが、顧客との関係性およびデジタル能力という当社の強みは、レジリエンスを高めようとする顧客を支援するための推進力の維持に役立っています。以下は顧客からいただいたご意見です。

- 「インフォシス・チームと協力し始めてから 5 年になりますが、非常に上手くいっています。結果は驚異的でした。私の財務チームとシニア・エンタープライズ・リーダーシップ・チームは契約の内容を遥かに越えて提供された結果を信じられないくらいでした。私は成果、そして受けたサービスに非常に喜びました。新型コロナウイルス感染症により、オンショアとオフショアのチーム共に閉鎖とロックダウンを強いられました。しかし、RPA ボットのおかげで、すべてのオーダーを発行でき、1 つの KPI も達成し損なうことはありませんでした。ボットが無ければ、困っていたでしょう。関係した人たちや実際のツールについていくら称賛しても足りないほどです。皆がスーパースターです」 **BT Enterprise、モバイル責任者 Brad Monks 氏**

- **LANXESS の CIO Kai Finke 氏**は次のように述べています。「標準化され、調和のとれたワークプレイス・サービスにより、世界規模でサービス品質および有用性を向上させるだけでなく、最近ではますます重要になっている柔軟性や拡張性を向上させることができます。インフォシスと連携することで、最新テクノロジーをより迅速に導入でき、コラボレーションおよびモビリティ機能を強化するワークプレイス・サービスに関して LANXESS を次のレベルへ引き上げることができます」

評価・表彰

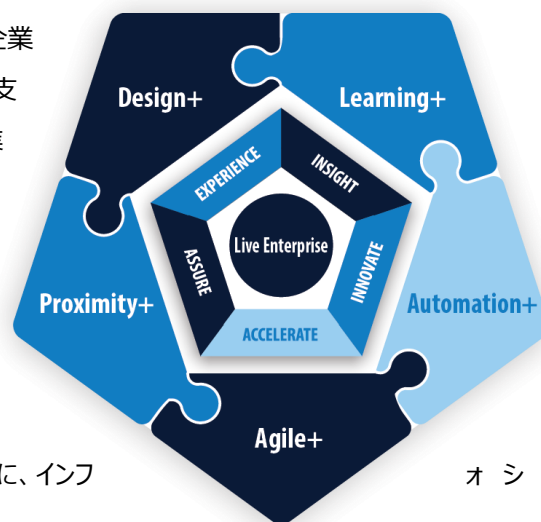
- Everest 社の PEAK マトリックス: Cloud-Native Application Development Services PEAK Matrix® Assessment 2020 でリーダーとして評価
- NelsonHall 社の Quality Engineering Services 2020 の NEAT 調査でリーダーの評価
- NelsonHall 社の Advanced Digital Workplace Services 2020 の NEAT 調査でリーダーの評価

- 旅行、ホスピタリティ、ロジスティクス・サービス事業者に関する HFS Research Top 10 でリーダーの評価
- Gartner 社の Magic Quadrant for IT Services for Communications Service Providers, Worldwide でリーダーの評価
- IDC 社の MarketScape: Asia /Pacific SAP Implementation Services Vendor Assessment, 2020 でリーダーの評価
- IDC 社の MarketScape: Worldwide Manufacturing Intelligence Transformation Strategic Consulting 2020 Vendor Assessment でリーダーの評価
- IDC 社の MarketScape: Worldwide Manufacturing Intelligence Transformation 2020 Vendor Assessment でリーダーの評価
- Forrester Wave の Digital Process Automation Service Providers でリーダーの評価
- CapiroIT の 2020 年 Salesforce.com Global Systems Integration and Services Providers Capture Share Report でリーダーの評価
- インドにおいて 2020 年 Top 10 Working Mother & Avtar Best Company for Women を受賞
- 2020 年 Working Mother & Avtar Most Inclusive Companies Index (MICI) のチャンピオン・オブ・インクルージョン賞を受賞
- インフォシスのデュッセルドルフ・イノベーション・ハブは、2020 年に権威のある NRW.INVEST 賞を受賞
- ブランド戦略および創出の卓越性に対して German Brand Award 2020 を受賞
- 世界的な認定企業 Top Employers Institute により、欧州全域における雇用条件の優れた基準に対して 3 年連続で認定。また、フランス、ドイツ、スイス、オランダ、英国では Top Employer 認定。
- Infosys Finacle は Forrester Wave™: Digital Banking Processing Platforms (Corporate Banking) の 2020 年第 3 四半期レポートでリーダーの評価
- Infosys Finacle は Gartner 社の Magic Quadrant for Global Retail Core Banking report 2020 で 13 年連続リーダーの評価

インフォシス リミテッドについて

DIGITAL NAVIGATION FRAMEWORK

インフォシスは次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーで、46 か国のお客様のデジタル変革を実現しています。ほぼ 40 年に渡り、グローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験から、お客様のデジタル変革に専門的な支援を提供します。たとえば AI による変更実行の優先順位付けを利用して企業がデジタル化を実現できるようにします。また、前例のない業績レベルを提供し、お客様に喜んでいただけるように大規模なアジャイルデジタルで業務を支援します。当社の絶えず学習するという方針に基づいて、革新エコシステムのデジタル技術、専門知識、アイデアが構築、伝達され、継続的な改善が推進されています。



リンク先 <http://www.infosys.com> では、企業が次のステージに進むために、インフ

オシ

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2019 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

連絡先

投資関連

Sandeep Mahindroo
+91 80 3980 1018

Sandeep_Mahindroo@infosys.com

メディア関連

Rishi Basu

+91 80 4156 3998

Rajarshi.Basu@infosys.com

Chiku Somaiya

+1 71367 06752

Chiku.Somaiya@infosys.com

インフォシス リミテッドと子会社

IFRS に基づく連結連結貸借対照表要約 (抜粋)

(100

万ドル)

	2020年9月30日	2020年3月31日
資産		
流動資産		
現金および現金等価	3,038	2,465
短期投資	488	615
売掛金	2,430	2,443
未請求収益	1,030	941
その他の流動資産	785	748
流動資産合計	7,771	7,212
非流動資産		
有形固定資産および使用権資産	2,438	2,361
のれんおよびその他無形資産	964	950
非短期投資	1,051	547
その他非流動資産	1,139	1,190
非流動資産合計	5,592	5,048
資産合計	13,363	12,260
負債および資本		
流動負債		
買掛金	322	377
前受収益	455	395
従業員給付債務	263	242
その他流動負債	1,764	1,743
流動負債合計	2,804	2,757
非流動負債		
リース負債	551	530
その他非流動負債	325	272
非流動負債合計	876	802
負債合計	3,680	3,559
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,623	8,646
非支配持分	60	55
資本合計	9,683	8,701
負債および資本の合計	13,363	12,260

IFRS に基づく連結包括損益計算書要約 (抜粋) :

(100 万ドル、株式データおよび1株当たり純資産データを除く)

	2020年第2四半期	2019年第2四半期	2020年上半期	2019年上半期
売上収益	3,312	3,210	6,433	6,340
売上原価	2,125	2,140	4,196	4,261
売上総利益	1,187	1,070	2,237	2,079
営業費用:				
販売費	153	165	305	333
管理比	194	209	385	408
営業費用合計	347	374	690	741
営業利益	840	696	1,547	1,338
その他の収益(純額) ⁽³⁾	70	83	128	183
税引前利益	910	779	1,675	1,521
法人所得税費用	255	207	456	403
純利益(少数株主利益調整前)	655	572	1,219	1,118

	2020 年第 2 四半期	2019 年第 2 四半期	2020 年上半期	2019 年上半期
純利益 (少数株主利益調整後)	653	569	1,212	1,115
基本 EPS (\$)	0.15	0.13	0.29	0.26
希薄化後 EPS (\$)	0.15	0.13	0.29	0.26

注:

1. 上記の情報は、2020年10月14日開催の取締役会で記録された2020年度第2四半期および上半期の要約された監査済み連結貸借対照表および包括損益計算書から抜粋したものです。
2. 当社の業績に関する概況報告書はwww.infosys.comからダウンロードできます。
3. その他収益には財務費用を含みます。